

高島平中央総合病院 診療外来担当表

平成21年6月1日現在

内 科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

眼 科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

外 科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

耳鼻咽喉科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

消化器科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○※	○※	○※	○	○※	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

※手術のため、時間を変更する場合がございます

泌尿器科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	☆	×	☆	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

注)新患受付…午前12:00まで 午後16:30まで

☆火曜・木曜(午後予約制)

整形外科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○※	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	○	○	×	○	○	×

※手術のため、時間を変更する場合がございます

皮膚科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	×	×	×	×	×	×
14:00～17:00	×	×	×	×	×	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

小児科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○◇	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

◇第2・4週水曜午後…乳児検診(予約制)

脳神経外科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	×	×	×	×	×	×
14:00～17:00	○	×	×	×	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

ご注意 ・都合により診療時間の変更・休診がございます。
・ご不明な点につきましては、各科外来にお問い合わせ下さい。

土曜日(午後)～日・祝日 診療体制

受付時間：24時間体制 診療科：内科医1名、外科医1名

※他の診療科につきましては代診の形をとらせていただいております。ご了解の上、診察いたします。



編集後記

そろそろ暑い季節になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。暑いからといってクーラーの効いた部屋ばかりにいると体温調節機能がうまく働かなくなり、夏バテをしてしまいます。適度に汗をかくて夏を乗り切りましょう。

さて今回からタイトルも変わり、記事も皆様にさらにわかりやすく、楽しく読んでいただけるようにしていきたいと思っています。広報誌に関するご意見やご感想などもお寄せください。

検査科 北澤 直美

“さくらんぼ” 高島平中央総合病院
Vol.1 創刊号 2009.6

発行／高島平中央総合病院 院内主任会サービス向上チーム
発行日／2009年6月
〒175-0082 東京都板橋区高島平1-69-8
医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院
TEL.03-3936-7451(代表)
http://www.ims.gr.jp/takashimadaira-hosp/



老化についてのお節介な話

一循環器内科医の
独り言

院長 麦倉 素行

「生きている」ということがどういうことか、これは大変に大きなテーマです。肉体的・精神的に「この世に生を受けて、あの世に召されるまで」、ストレートに言い換えるなら「生まれて死ぬまで」となるでしょうか。この間の物理的・思想的変化を分析し、解明していかなばなりません。それこそ細胞レベル、いや、遺伝子レベルの研究から、魂を含む心の変化までを詳細に検証しなければならない広大なテーマです。そして、“生きていること”はある意味で“老化すること”にもなるのです。

一応、科学者の端くれであり医師である私には、主に肉体的変化に関する話題が興味の対象になります。「生まれたものは必ず死ぬ」と考える割り切り方は、あまりにシュール(超現実的)と嫌われるかもしれません。しかし、医学も科学である以上、物事には必ず存在理由があると考えて、それを知ろうとする探究心が必要なのです。医師たる私は、科学者の一人として、“生きている人間の老化”について、悩ましい日々を送ってきました。

過去を遡れば偉大な先輩方が大勢いて、大学病院などの大きな研究室のみならず、街中の診療所などでも、人間に限らず生物が“生きていくための仕組み”について試行錯誤し、研鑽を積んできました。その結果、ノーベル賞に値する研究成果はもちろん、日々の臨床、例えば、外来診療中に向き合った患者さんから感じて得た貴重な情報など、多くの知識や経験の積

み重ねが、科学の中では(生身の人間が相手であるがゆえに)最も遅れているといわれる“医学”を地道に、しかし、確実に進歩させてきたのです。

さて、“老化”といえは、私たち循環器内科医が思い浮かべるのは“動脈硬化”という言葉です。昔から語り継がれたこの言葉は、何十年経っても廃れることのない、医学界のみならず、社会生活上で老化を意味する定番メニューともいえる言葉でもあります。辞書には①動脈の壁が硬くなり、弾力を失う病気、とあり、さらには②融通のある自由な考え・活動ができない状態、と、誰もが知る比喩的表現にまで使われています。そして、21世紀を迎えた現代でも、医療に携わる人間にとって欠くことのできない医学用語であることに異論を挟む余地はありません。世に恐ろしきは“動脈硬化”なのです。

中面につづく

動脈硬化について

患者さんを目の前にして一日に一度は必ず口にする言葉です。高血圧症ばかり、糖尿病ばかり、そして、高齢化ばかりです。まさに最近、もっとも注目を浴びている言葉の一つです。

人間の血管は上下水管に例えることができます。それは住民の生活を支える大事なライフラインで、その一方で破綻すると我々の生活に支障をきたすことになります。そして、即刻の対応が迫られるのは生物が生きるために必要な飲料水の確保です。その道が絶たれたら生命維持が困難になるのですから。

血液は酸素を含む様々な栄養素を全身の細胞、つまり各臓器に運搬する働きを担っています。その血液は全身に送り届けるべく心臓から押し出され、体の中心線を走る大動脈を通り、さらに枝分かれして身体の間々まで運ばれます。そして、燃料補給された細胞から、さらに各臓器が働き始めるのですが、その補給路から断たれたら彼らは、そして、私たち生物は生きていくことができません。“動脈硬化”は、そうした大事な交通網に障害を与えるものです。

そしてメタボは？

最近、メタボリック症候群（以下メタボ）という、世に

もおぞましい言葉が流行しています。心当たりのある人も、ない人も、嫌でも耳にする言葉です。“メタボ”は「心血管疾患の発症および進展に係わる、肥満（特に腹部内臓脂肪の増加）、高血圧症、耐糖能異常、脂質異常などの危険因子が集積する」病態をいい、食べ過ぎや運動不足といった生活習慣の改善を第一目的として提唱されたものです。その詳しい診断基準や治療方針などは、紙面の都合上ここでは省きますが、その予先は前述した“動脈硬化”、さらには年齢以上に進む“老化”に向けられたものといえます。

好んで老化を早めることはない！

“老化”を避けることはできません。人間は生まれたら日々年を重ね、老化していきます。これは止むを得ない事実です。しかし、無用に老化を早める必要はないのです。不本意にも天寿を全うせずして命を絶たれる人もいますが、決してその人が好んだ結果ではありません。選択の自由をお持ちの皆さんには、よい生活習慣を身に付け、いつまでも若さを保ち続けられることを願っています。



LDL-コレステロールって何??

いままで脂質異常症の診断指標として主に総コレステロールの値で判断していました。ですが最近では新たな診断基準としてLDL-コレステロールが用いられています。

LDL-コレステロールとは何？と思われる方もいらっしゃると思いますが、

悪玉コレステロールとえばご存知の方も多いと思います。

この**悪玉コレステロール 140mg / dl 以上**を脂質異常症の診断基準として用いています。

脂質異常症は、虚血性心疾患や脳血管障害などの動脈硬化疾患の危険因子として重要です。

当病院でも健康診断や高脂血症の治療で、LDL-コレステロールが測られることが多くなってきました。採血の結果を見る機会がありましたら注目してみてください。



—— 板橋区特定健診がはじまります ——

当院では、板橋区特定健診を6月1日より始めます。この機会に是非みなさまの健康チェックをお薦めします。

期間は**6月1日（月）より10月31日（土）**までとなります。

今年度より**完全予約制**となりますのでご了承ください。

予約は5月25日（月）より受付いたします。なお、お問い合わせは総合受付までお願いいたします。

- 板橋区国保特定健診
- 板橋区区民一般健診
- 板橋区後期高齢者特定健診
- 板橋区元氣力健診

ペットボトルキャップ回収 ～ 第2報 ～

2008年7月より活動して参りましたが、2009年5月までの間に計4回の回収を行なうことができました。みなさまのご協力・ご理解ありがとうございました。今後とも、活動を続けて参りますので、引き続きご協力よろしくお願い致します。

* 2008年度は、266個で20円、2009年度以降は、800個で20円のお金で換算していただいております。

第2回 期 間 2008年10月～12月
 ☆ キャップ回収量 50.3Kg（約20,100個）
 ☆ 環境負荷軽減 CO²排出削減 51.81Kg

第3回 期 間 2008年12月～2009年2月
 ☆ キャップ回収量 32.5Kg（約13,000個）
 ☆ 環境負荷軽減 CO²排出削減 33.48Kg

第4回 期 間 2009年2月～5月
 ☆ キャップ回収量 50.7Kg（約20,300個）
 ☆ 環境負荷軽減 CO²排出削減 52.22Kg

累 計 期 間 2008年8月～2009年5月
 ☆ キャップ回収量 167.0Kg（約68,800個）
 ☆ 環境負荷軽減 CO²排出削減 172.02Kg

..... タイトル変更「さくらんぼ」について



このたび高島平中央総合病院広報誌「ブラザイムス」は「さくらんぼ」にタイトルを変更いたしました。「さくらんぼ」とは、さくらんぼの形のように病院と患者さまが手と手を取り合い、一緒に治療をしていく...という思いが込められています。

私たち職員は職種を超え、多くのスタッフが一丸とな

って患者さまの治療に全力で取り組んでいきます。

「さくらんぼ」は高島平中央総合病院の全職員で作上げた広報誌です。さくらんぼのように多くの年代の方に親しみやすく愛される広報誌作りを目指していきます。

